

送信機の設定方法

直接法

目的の配管や配線に
直接接続し送信する
方法。
最も探査確度の高い
方法になります。

- ①送信機に付属のワニ口クリップ付きコードを接続します。



- ②地中に挿した付属のアース棒に黒色ワニ口をクリップします。地面に隣接していなければ分電盤のアース部に接続します。

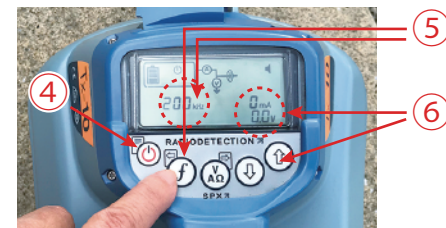
※アースまでの距離が遠い場合はアースコードリールをご使用下さい。



- ③赤色のワニ口クリップを目的線や配管などの導体に接続します。



- ④電源を入れます。
⑤fボタンを押し受信機と周波数を合わせます。※周波数については本取説をご参照下さい。
⑥↑↓ボタンで出力を調整します。



クランプ法

目的の配管や配線に
クランプを使用し非
接触で送信する方法。
被覆上から送信信号
を送る為、高圧ケー
ブルに有効です。

- ①送信機に付属のクランプ付きコードを接続します。

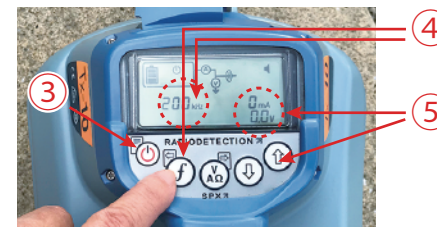


- ②目的の配管や配線にクランプを取り付けます。

※クランプが開いていないかをご確認ください。



- ③電源を入れます。
④fボタンを押し受信機と周波数を合わせます。※波数については本取説をご参照下さい。
⑤↑↓ボタンで出力を調整します。



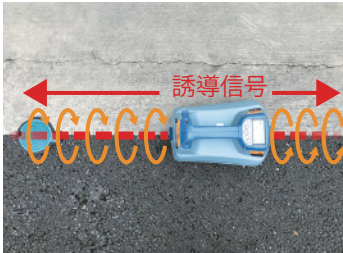
誘導法

目的の配管や配線に
誘導信号を送り込む
方法。目的の配管や
配線の露出部分がない
場合や高圧ケー
ブルに有効です。

- ①送信機には何もコードは接続せず、電源を入れます。



- ②送信機を目的の配管や配線の上に置き送信信号を送ります。



【ポイント】
送信機を置く際は
目的物の上に平行
になるように置いて下さい。

未知のケーブル探索は
別紙をご参照ください

- ③fボタンを押し受信機と周波数を合わせます。※周波数については本取説をご参照下さい。
④↑↓ボタンで出力を調整します。



受信機の設定方法

自然波法

電力線や通信線から自然発生する磁界を送信機を使用せず受信機のみで探知する探索方法です。

①電源を入れます。



② **f** ボタンで[POWER]もしくは、[RADIO]を選択します



RD7200 の自然波法は 2 種類の受信方式があります。

POWER (電力線)



電圧の印可された線から発生する電磁波 (50Hz-60Hz) を検知

RADIO (ラジオ電波)



ケーブルに誘導したラジオ電波の電磁波を検知

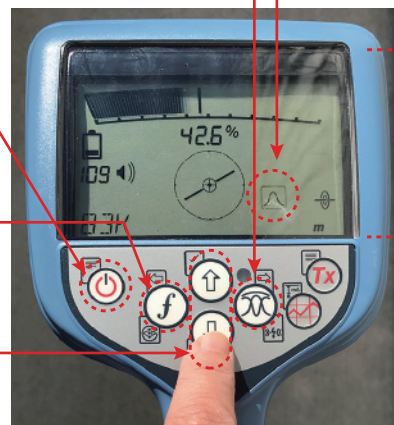
受信機の基本操作

①電源を入れます。

② **f** ボタンで送信機と周波数を合わせます。

※周波数については本取説をご参照下さい。

③ **↑** **↓** ボタンで受信感度を調整します。



④ **ⓧ** ボタンでアンテナモードを選択します。



ピークモード(推奨)

※他のモードについては
取扱説明書をご参照ください

※ **f** ボタンを押しながら **↑** **↓** ボタンを押すと周波数を上下に移動して選択出来ます。

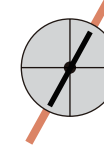
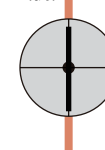
バッテリー残量

受信感度

パッシブモード

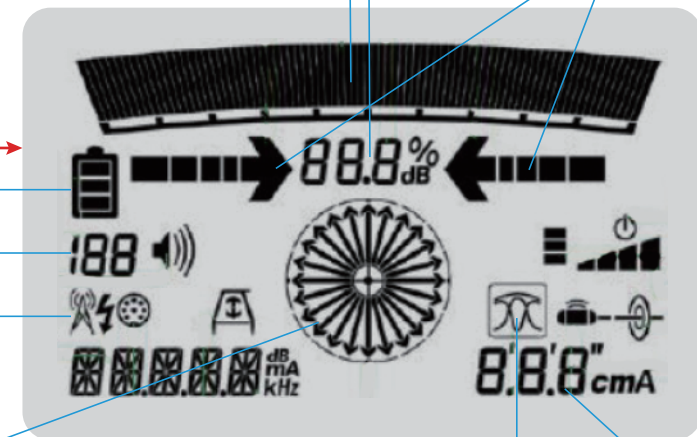
コンパスインジケータ
探知したケーブル(配管)
の方向を示します

〈例〉



受信感度レベル

受信機に対して目的物の
方向を示します



現在の
アンテナモード
を示します

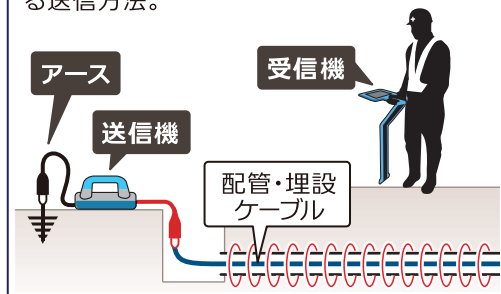
探索深度表示

※他のモードについては
取扱説明書をご参照ください

探索方法

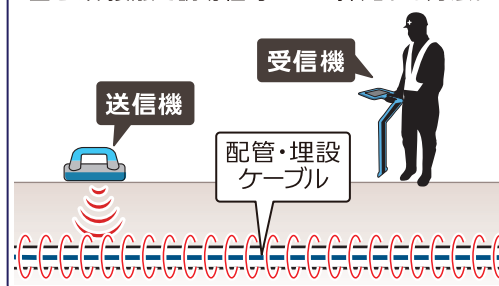
探索方法1: 直接法

送信機の付属のクリップを対象ケーブルとアースに接続します。最も探索距離が得られる送信方法。



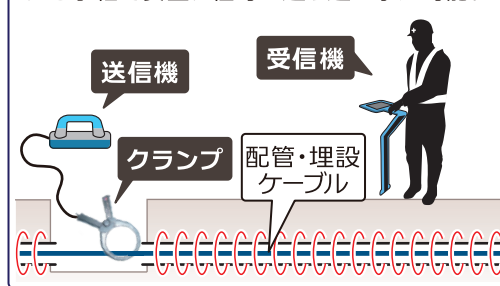
探索方法2: 誘導法

クリップで直接接続できない状況のとき、探知したいケーブルや金属管の直上に送信機を置き、非接触で誘導信号をのせ探知する方法。



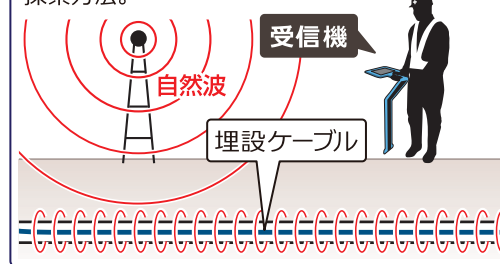
探索方法3: クランプ法

目的ケーブルや複数のケーブルをまとめてクランプする簡単な送信方法。活線のケーブルにも手軽で安全に信号を送り込む事が可能。



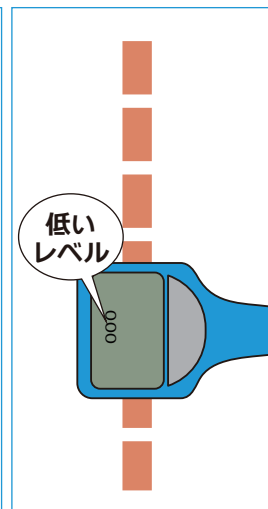
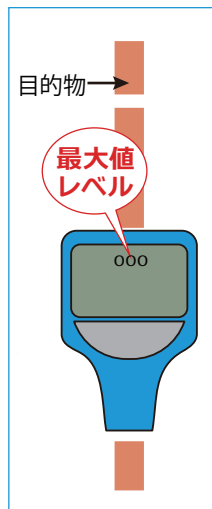
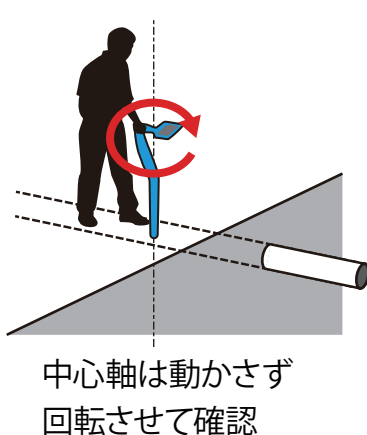
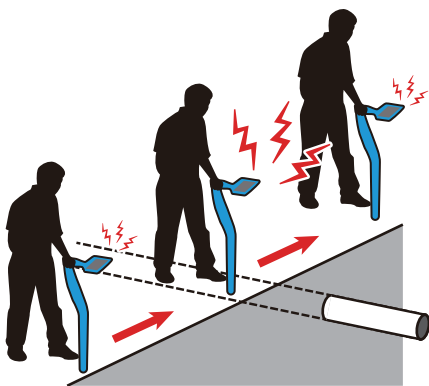
探索方法4: 自然波法

高圧線・通信線やラジオ電波などから発生する自然波の磁界が埋設された金属管やケーブルに誘電され、埋設物を伝搬した磁界を検知する探索方法。



目的ケーブル(配管)位置特定方法

- ①信号が印加された埋設物の直上で受信機の反応が最大になります。
- ②その場で回転させることで受信機を動かすことで目的物の方向が確認できます。



埋設深度の計測方法

受信機が目的物の直上にある時にのみ埋設物の深度が画面に表示されます。

※直接法での計測が最も精度が高くなります

